



笹小だより



⑯令和7年2月27日

伊丹市立笹原小学校

学校評価アンケートの結果から

2月20日(木)・21日(金)に開催しました今年度最後の授業参観・学級懇談会には、寒い中、多くの保護者の皆様にお越しいただき、ありがとうございました。お子様の成長を感じていただける機会となっておりましたら幸いです。

今年度は、学校教育目標「心身豊かに学び合う子どもの育成～対話を通して主体性を育む教育活動の実現を目指して～」に向けて、取り組んでまいりました。授業では、めあてに向かう学び、ペアやグループによる話し合い活動、書くことを通した自分自身との対話等を取り入れてきました。また、全校児童が集合する機会や、異学年で交流する場面等を受け、対面で伝えることも意識してまいりました。また、地域の皆様による学校応援団「笹ポーター」ともつながり、子どもたちとともに育てまいりました。1年間の取り組みを振り返り、次年度に生かすため、学校評価アンケートにご協力いただき、成果と課題を検証しております。皆様にご協力いただきました結果を報告いたします。

質 問 項 目 (①～⑨お子様は、⑩～⑳学校は、)	肯定的意見の割合(5p以上で+-)		
	2024年度	2023年度	2022年度
①楽しく学校に行っていますか。	92.8	94.6	95.1
②学校行事・学年行事に楽しく参加していますか。	97.8	97.9	98.7
③意欲的に学習に取り組もうとしていますか。	86.2	88.5	88.6
④学力が定着していますか。	85.8	87.9	85.0
⑤あいさつや早寝・早起き等規則正しい生活をしていますか。	86.3	86.8	85.8
⑥朝ご飯を食べてから登校していますか。	96.4	96.1	97.6
⑦社会のルールやきまりを守っていますか。	96.2	96.9	97.7
⑧思いやりの心をもち、命を大切にしていますか。	97.8	98.6	98.5
⑨外で遊んでいますか。	71.1	72.3	69.2
⑩家庭では学習や食事の時に姿勢に気をつけていますか。	75.9	74.3	76.4
⑪いじめや心の問題などに適切に取り組んでいますか。	76.6	74.7	71.9
⑫火事や地震・不審者などの危機に適切に対応できるような指導や訓練を行っていますか。	86.3	84.5	85.0
⑬校内での過ごし方や遊具の安全な使い方、交通ルールなどを指導していますか。	82.0	80.2	76.6
⑭家庭での読書の呼びかけや読書の時間を設けるなど、読書指導に力を入れていますか。	79.1	80.6	79.3
⑮子ども・保護者に関する個人情報を適切に保護していますか。	88.2(+)	80.6	79.3
⑯学年だより・笹小だよりやHPなどで教育活動の様子を保護者に伝えていますか。	94.7	95.2	94.7
⑰教育方針や行事・活動の様子がよくわかりますか。	89.4	90.0	88.0
⑱保護者の願いに応えていますか。	86.0	83.0	81.5
⑲保護者や地域の方が授業や懇談会に参加する機会を十分に設けていますか。	95.4	96.0(+)	86.1
⑳保護者や地域の方と協力して学校教育や社会教育を行っていますか。	91.1	91.0(+)	85.9
㉑学習の場として、子どもが活動しやすい環境を整えていますか。	94.5	93.2	89.7
㉒教育のユニバーサルデザイン化に取り組んでいますか。	82.2	82.3	71.1
㉓清掃の仕方や大切さを指導していますか。	87.5(+)	82.4	80.1
㉔タブレットの活用によりお子様の学習意欲は向上していますか。	72.6	76.1	76.2

評価結果から、5p以上評価を下げた項目はありませんでした。検証の概要は、以下のとおりです。

① 楽しく学校に行っているか。

わずかにポイントが下がりつつあります。様々な事情により登校し辛い児童がいることを常に意識し、関係機関と連携を図ったり、学び場を工夫したりすることで、つながりを保ちながら状況が改善していくよう引き続き努めてまいりたいと考えております。

③ 意欲的に学習に取り組もうとしているか。 ④ 学力が定着しているか。

学習における児童の主体性をさらに意識した授業研究を行ってまいります。

⑮ 個人情報適切に保護しているか。

前年度までの結果を受け、一層の注意を払ってきたことが伝わりつつある結果と受け止めておりますが、引き続き留意してまいります。

⑳ 清掃の仕方や大切さを指導しているか。

3・4年生が年2回「笹ポーター」の方々とともに清掃を行っていることや、6年生が1年生とともに清掃する機会を設けていること、清掃の仕方について全学年が本校独自の動画教材により学んでいることなどが、児童の姿を通して伝わっているのではないかと考えます。

㉔ タブレットの活用により学習意欲は向上しているか。

一人1台端末が貸与されて年数が経過し、活用場面の質が問われるようになりつつあります。アナログとデジタルは、それぞれの良さがあります。学習での活用場面については、研究を継続し、児童の学びやすさにつながるよう活用してきたいと考えております。

自由記述欄では、今より児童理解が促進されるよう、1クラスの定員減についてご意見をいただきました。1クラスの定員については、学校単位で決められるものではなく、県の指示通りとはなりますが、専科指導や一部教科の交換授業、支援員による支援等により、複数で児童の様子に気を配りながら対応してまいります。その他、ご意見いただいておりますことにつきましては、内容により直接保護者とお話させていただきながら改善を図ってまいります。

児童アンケートより

3～6年生の児童に実施しましたアンケート結果より、5p以上の増加があった項目は以下のとおりです。減少項目はありませんでした。

・家や学校で本をよく読んでいますか。 67.5p (前年度:61.7)

・家でまなびポケットを1週間にどれくらい学習に使っていますか。

(ほぼ毎日・週に半分くらい) 76.3p (前年度:61.2)

上記結果については、電子図書館の導入やタブレットを使っでの学習に慣れてきたことによるものと考えます。

他にも、「姿勢に気を付け、授業に集中して取り組んでいる。」や「学習でわかりにくいことを先生に質問できる。」「書くことが好き。」「クラスで苦手なことをがんばっている友だちを応援できる。」「掃除に前向きに取り組んでいる。」「感染症予防につながる清潔行動に気を付けた生活ができています。」といった項目で、3～4pの改善傾向が見られました。

一方、心配な項目としては、「早寝・早起きができていますか。」66.3p (前年度:63.9)が挙げられます。登校時間ぎりぎりに走って校門を通過する児童や、遅刻で登校する児童が増えつつあります。特別な場合を除き、決まった時刻に寝起きして、質の良い睡眠を心掛け、生活リズムを整えることは、心身の健康にもつながります。学校からも啓発をしていきたいと考えておりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

「書き損じハガキ・キャンペーン」へのご協力をお願いいたします。 3月17日(月)まで

伊丹ユネスコ協会から、本キャンペーンへの協力依頼がありました。本キャンペーンは、世界に約1億人以上いると言われている学校に通うことができない子どもたち(6～14歳)に学習の機会を届けるというものです。書き損じハガキ14枚で1人の子どもが1年間教育を受けられる支援につながるそうです。ご家庭に、①書き損じハガキ ②未使用のハガキ(古くても可)がありましたら、お子様を通じて、校長室前に設置しているボックスまで投函をお願いいたします。